

## 石材店に行く前に選ばれる



# 墓石工事契約等 ガイドライン

みなさま、「ガイドライン」登録申請はしていただきましたか？ 現在、うなぎのぼりに増えており110社になりました。(11/5現在)「墓石工事契約等ガイドライン」(以下石材店ガイドライン)。お客さまにとってはまさしく「石材店が守るべきガイドライン」は登録していただける業者がないと始まりません。つまり、石産協会員が動いてくださらないと進まない事業です。

## 「そんなこと言われたってな・・・大して意味がないんだろ・・・」 大あります!!

ほんの一部の「儲ければ何してもいい」という業者の行動によって、石材業界は「不信感の高い業界」だと思われています。国民生活センターの相談件数も「葬儀」より多い数の「お墓」相談が寄せられています。(以下参照)

国民生活センター調べ【お墓と葬儀サービスの相談件数の推移】 (2021.8.24現在)

	2018	2019	2020	2021
お墓の相談件数	1,309	1,231	947	191 前年同期133
葬儀の相談件数	622	632	683	144 前年同期129

※相対的に「お墓」は減少傾向にあるが、依然として「葬儀」より多い。引用:独立行政法人国民生活センターホームページ「相談事例」より

「未だに見積書すら出してくれない」「代金を払ったのに、工事してくれない」「クレームを言うと逆ギレされて、怒鳴りつけられた」などなど、考えられない業者がいるのです。まわりまわって私たちの商売も足を引っ張られているの、わかりますか？ 石材業界全体に疑心暗鬼の目が向けられているのです。まったく身に覚えのない理由で、知らず知らずのうちに…。そういった業者はこの際、商売から手を引いてもらいませんか？ そのための強力なツールがこの「石材店ガイドライン」です。初めてのお墓づくり。初めての石材店選び。何もかも初めてでよくわからない。そんな方にも一目で判別がつかます。

「石材店ガイドライン」に登録しているだけで、選ばれる石材店の一つに入れる。  
「石材店ガイドライン」に登録していないだけで、選択肢の中から外される。

そこまで発展できれば素晴らしいと思いませんか？ ホントに簡単です。登録申請書に記入して事務局に送るだけ。石産協がつくり、盛り上げて、石材業界全体に広げることを目指します。

- ①登録の石材店も自分自身の見直しにもなり、資質向上の足掛かりともなる。
- ②お客さまも石材店選びがしやすくなり、満足のいくお墓づくりに繋がる。
- ③業界全体のクレームも減り、業界イメージも向上する。

まさしく「三方良し」の近江商人の関係ができるかもしれません。石産協の総力を挙げて、みんなでつくり上げていきませんか？ (詳しくはホームページ参照) [顧客満足推進委員長 大北和彦]



社内の  
みなさまで  
回覧して  
ください

2021年  
11月15日発行  
(隔月15日発行)

石産協通信は  
Webでも  
閲覧できます。

石産協HP  
(会員ページ)

ログインID:  
groupjapan

パスワード:  
LpBvXc







新型コロナウイルスの蔓延により見送った昨年のお墓ディレクター検定ですが、本年は来週開催予定となっております。受検者のみなさまは最後の追い込みで頑張っているころだと思います。本当は受検したかったけれどコロナ禍ということで控え、来年度のお墓ディレクター検定を目指す方もいると思います。そこがチャンスです。まだ今年の検定終わってないしとか、来年のことだしとか、早すぎるでしょ、などと考えずに今から受検を考えておくと確実に合格の可能性がアップしますよ！少しずつ勉強の準備を進めていけば、あの“ブ厚い”お墓の教科書があなたのバイブルになることまちがいナシ!!

最近感じるこのひとつに、石材店さんでも問屋さんでも事業を継承して頑張っている若者がとても元気なことです。若い方たちには率先してこのお墓ディレクター検定を受けてもらって勉強する機会をどんどんつくって欲しいなと思います。すでに2級をお持ちの方は1級へ挑戦をしてください。若い脳を使うときは「今でしょ!」親御さんは、息子さんや娘さんに「頑張ってとってみよ」と背中をちょっとおしてあげてください。もう年だし自分で勉強できるかな?と思われたら、若い方に頑張ってもらいましょう。すでに自分が資格を持っているし、会社に有資格者がいるからもう必要ないな~と思わずに個々の可能性を伸ばすチャンスでもあります。これからの時代お墓ディレクター資格はお客さまに「安心」の見える化となり、それは事業の発展へもつながると思います。将来の石材業界を背負って立つ若者のみなさま、気の早い話かもしれませんが、来年のお墓ディレクター検定はぜひTry!そして今年を受検生Fight! [お墓ディレクター委員会 福地修平]

## 2022年度から「全国支部長連絡会議」を開催

昨年度末から、地区・支部の組織運営等を見直すために協議を重ねてきました。その結果、2022年度からは「全国支部長連絡会議」を開催し、協会の活動報告等の伝達を迅速に行い、自己研鑽の場ともしていきます。また支部長が理事ではなくなり、これまでの常任理事会が理事会となります。当会のメリットは全国組織であり、支部活動を通し、石材業界の横のつながりを保つことです。会員は、所属の支部、部会、委員会へ積極的に参加し、会員間の交流、学びや研鑽の場として大いに活用してください。

## 2022・2023年度会長立候補者 森田浩介氏を理事会で承認

会長立候補受付期間を経て、現会長の森田浩介氏と推薦人5名の名前で会長立候補届及び推薦状が提出されました。当委員会では10月14日第2回理事会に同書類を上程し、2022・2023年度会長候補者として森田浩介氏が審議承認されたことを報告します。今後は、2022・2023年度の地区長、部会長、委員長、担当副会長を各会議から推薦いただきます(支部長は支部の報告事項となります)。2022年6月17日開催の第13回定時総会にて、会員による承認をもって、新たな組織がスタートします。[役員候補者管理委員長 井口 功]

## 「散骨に関する現状と課題研究委員会」は、「三団体連絡協議会」として再スタート

全国石製品協同組合、(一社)全国優良石材店の会、当会の三団体で組織した「散骨に関する現状と課題研究委員会」は、散骨問題だけではなく、墓理法や業界の諸問題など三団体共通のテーマを協議するために「三団体連絡協議会」として再スタートし、四半期に1回会議を行い情報交換していくことになりました。その内容は随時、報告していきます。

[他団体連携担当理事 柴田 清]

石を愛するコミュニティ



一般社団法人  
日本石材産業協会  
The Japan Stone Industry Association

東京都千代田区神田多町2-9 日計ビル2階  
Tel:03-3251-7671 Fax:03-3251-7681  
<https://www.japan-stone.org/>  
企画・編集・発行:広報委員会